

# 「人材開発支援助成金」の活用例⑫

## 残業時間削減の為にPC・ITスキル向上を目指した人材育成への活用

PC・ITスキルを向上させることにより、残業時間の削減を実現した建設コンサルタント会社が、更なる生産性の向上を実現するため、企業内の人材育成に「人材開発支援助成金」を活用できる事例を紹介します。

### 建設現場で抱える課題

- **PCスキル・IT知識の不足**  
報告書や協議書などの作成の際、**基本的なPCスキルが不足している従業員が複数存在。**コロナ対策でリモートワークシステムやグループウェアソフトを導入したが**基本的なIT知識の不足**により上手く活用できていない。
- **残業時間の増加**  
PCスキル・IT知識不足等を要因として**残業時間が増加。**一方で、中小企業で**人員に余裕がなく、十分な研修環境が確保できない状態。**

### 課題解決に向けた業務改善

- **定額制（サブスクリプション型）訓練の導入**  
サブスクリプション型訓練を導入する事で、隙間時間に無理なく**効率良くIT知識・PCスキルを習得できる環境を整備。**従業員のPCスキル向上により、**事務処理スピードが向上。**
- **リモートワークシステム・グループウェアソフト等の活用促進**  
グループウェアソフト等を上手く活用する事で社内の情報共有がスムーズになり、**業務全体が円滑化。**

### 人手不足の解消と生産性の向上

- 本来の業務をほとんど圧迫することなく、**効率良く従業員をスキルアップ**させることで**残業時間を削減。**残業時間の削減により、求人の際などに働きやすい職場としてのPRポイントが増えるなど、**企業イメージが向上。**
- 業務全体の効率化に関する成功体験や、各従業員のスキルアップにより、**社内のモチベーションが向上。**

### 人材開発支援助成金の活用方法

「人材開発支援助成金」は、事業主が従業員に対して職務に関連した訓練を実施した場合に、**訓練経費や訓練期間中の賃金の一部などを助成**しています。

上記の取り組みでは、従業員を対象として、ITスキル・知識の習得を目的とした研修に**定額制（サブスクリプション型）訓練**を活用する場合に、助成金を活用することができます。

<助成金活用のメリット>

- **助成金を活用して人材育成を行うと、研修等の費用負担を抑えることができます。**
- 定額制（サブスクリプション型）訓練は、**隙間時間に無理なく効率良く研修等を実施し、一度に多くの社員をスキルアップ**させることが可能です。（定額制訓練は経費助成のみ）。

